



6年生への感謝の気持ちを込めて

3月6日(金)に「今までありがとう 未来へはばたけ 6年生を送る会」が行われました。

1年生は「潮見っ子応援団」として、6年生にエールをおくりました。一生懸命覚えたせりふだっと思えますが、体育館に響く大きな声で、6年生への感謝の気持ちを表していました。5年後の応援団長候補がたくさんいました。色画用紙や



ポンポンを使って人文字を表したときには、6年生から「おおー。」という歓声が上がりました。出し物の先頭として勢いをつけた1年生でした。6年生の胸ポケットの赤い花も、1年生が作ったものです。

2年生は、「王冠のプレゼント」をしました。これまでお世話になった6年生への思いを込めながら作った王冠は、とてもカラフルで、王冠を被った6年生を中心に会場が一気に明るくなりました。2年生に被せてもらった王冠を、6年生は送る会中ずっと被っていました。気に入っていることがよく分かりました。



3年生は、「6年生と対決！」をしました。1回戦は、フラフープ対決、2回戦は、縄跳び対決、3回戦は、けん玉対決でした。1回戦は、僅差で6年生が勝利、2回戦も6年生の力を見せつけました。3回戦は、これまで練習していた成果が発揮されたのでしょう、3年生が勝ちました。結果、2対1で6年生が勝ち、面目を保つことができました。6年生も3年生も、どちらも本気で勝負をしていましたので、まわりも必死に応援をしていました。



4年生は、「好きすぎて6年生！」をメッセージカードに表しました。これまで縦割り班活動や掃除などでお世話になっ



た6年生に、「ありがとう」の思いを込めてメッセージカードを作り、それを渡しました。メッセージカードには、飛び出す仕掛けがあったり、かわいらしいシールを貼ったりして工夫をしていました。カードを手にした6年生は、何度も読み返していました。



そして、5年生。「6年生思い出劇場」を披露し、6年生のこれまでの歩みを振り返ることができるようにしました。事前に取材をした上で、各学年に起こった出来事を劇で表現

しました。途中、クイズを出してみんなが参加できるようにしていました。6年生からは懐かしい思い出に共感する笑いも生まれ、とても楽しく見ることができました。

5年生はそれだけではありません。この会の計画、会場の準備、片付け、司会、進行を立派に成し遂げました。昨年度から活用しているAIによる似顔絵の掲示だけでなく、飾りもこだわりを見せていました。風船を使うアイデアは、今年初めての試みです。また、はじめ、終わりの言葉に際にBGMを流したり、送る会がスタート時には、5年生が掛け声を上げたりしました。これらは5年生のアイデアを採用したもので、とにかく6年生のために会を盛り上げていこうとする姿勢が感じられました。今の5年生は、イベントに対して積極性があり、発想力に長けていますので、来年度の活躍が、本当に楽しみです。

そして、6年生は、最後に下学年へのお礼の出し物として、卒業式で歌う潮見小学校のオリジナルソング「Memory ~ with best friends ~」を披露しました。6年生の歌声を聴くことは、5年生以外にとって最後となるので、しっかり聞き入っていました。6年生も、歌詞に思いを込めて歌っていました。6年生は、笑顔で下学年の出し物を見ていました。気持ちのよい反応も随所に見られました。

会の最後には、感動して涙する6年生、在校生も見られ、素直な子どもたちの様子に、私も胸が熱くなりました。潮見っ子のよさが改めて感じられ、大変心温まる6年生を送る会となりました。大勢の保護者のご参観、ありがとうございました。

【6年生への下学年からのメッセージ】

- 掃除をお手伝いしてくれて、ありがとう。
- いつも班長を頑張ってくれてありがとう。
- いつも仲良くしてくれてありがとうございます。いつまでも元気でいてください。
- スハミラの時、楽しい遊びを考えてくれてありがとう。
- いつも1から5年生を支えてくれてありがとうございます。中学校でも頑張ってください。
- いつも笑って話してくれてありがとう。中学校でも頑張ってね。
- 朝いつも挨拶をしてくれたり、声を掛けたりしてくれてありがとう。先輩が、中学校に行くのは寂しいけれど、中学校でも先輩らしく元気で頑張ってください。

